

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 23 年 4 月 25 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	株式会社 埼玉ハッコウ 川口工場における、貫流ボイラーのA重油から都市ガスへの燃料転換による省エネ事業
承認番号	JCDM-PJ0034
排出削減事業者名	株式会社 埼玉ハッコウ
排出削減共同実施事業者名	ジーコンシャス株式会社
事業実施場所	株式会社 埼玉ハッコウ 川口工場 (埼玉県川口市青木 2-7-18)
事業の概要	事業所内のボイラーの燃料転換を行い、省エネルギーを図るものである。
排出削減量の計画	2008 年度：194 tCO <sub>2</sub> /年 2009 年度以降：269 tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 1,270tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット 認証期間	開始日 2008 年 9 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2008 年 9 月 1 日～2010 年 12 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画の「モニタリング対象指標のQA/QC」に基づき算定されており、適正であることを確認した。

排出削減量	667t-CO2
-------	----------

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 排出削減事業計画通り、事業が開始されていることを確認した（2008年9月1日）。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新後の都市ガスボイラは実績確認期間中継続的に稼働していることを確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従って、更新後の都市ガスボイラが導入されていること、及び本実績期間において稼働していることを、モニタリング対象指標の実績により確認した。具体的には、排出削減実施後の都市ガス使用量については、請求書を記録・管理し、当該データを元に正確に集計されていることを、証拠との突合、検算などにより確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 活動量は採用していない。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている活動量、排出係数等が方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。</p>
算定期間が2013年3月31日を超えないこと	算定期間は2010年12月31日までであり、2013年3月31日を超えていない。

## 5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算17.9klであることを確認した。

以上